

第2回

イメージングでひも解く 細胞死研究の基礎と最前線



中野 裕康 先生

東邦大学 医学部医学科
生化学講座 教授



白崎 善隆 先生

東京大学
先端科学技術研究センター
准教授

多様な細胞死の誘導メカニズム とその生体における役割

光最近の研究からアポトーシス以外にも多くの計画的細胞死（制御された細胞死）が存在し、それらの細胞死が生体内で起こっており、さまざまな生体応答に関与していることがわかってきました。本セミナーでは細胞死研究の初心者やこれから細胞死研究を始めたいという研究者を対象として、制御された細胞死を解説し、一部我々の最新の研究成果を紹介したいと思います。このセミナーを聴講していただくことで、分野外の人から見るとよくわからなかったアポトーシス以外の細胞死の違いや、類似点を理解していただけたと思います。

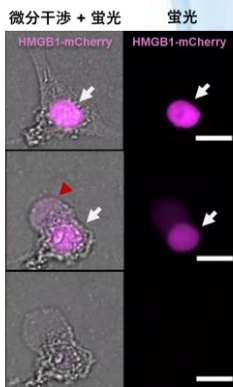


図1. ネクロトーシスに伴うHMGB1-mCherryの核からの放出
Murai et al., Nat Commun 2018から改変して引用

製品紹介

株式会社同仁化学研究所
「細胞死関連試薬のご紹介」

演題

細胞死に伴うシグナル放出の 1細胞ライブイメージング

制御された細胞死の過程では炎症に関わる様々なシグナル分子が産生されます。それでは、いつ、どの細胞が、どのようにこれらを放出するのでしょうか？本セミナーでは、蛍光免疫アッセイと全反射蛍光顕微鏡法を組み合わせたLive-Cell Imaging of Secretion activity (LCI-S)が映し出すダイナミックな細胞死の姿をご紹介します。



株式会社ニコンソリューションズ
「研究を発展させるイメージングプラットフォーム」

日時

1/28 (火) 16:00-18:00

形式

ZOOM

費用

無料

お申込み

<https://go.healthcare.nikon.com/l/924973/2024-12-04/2ykhm5>



QRコードから
お申込み